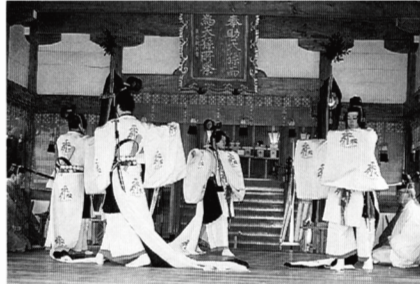




毎月十五日発行 社会 宗像 大像 宗像 電話 0940-62-1311(代) http://www.munakata-taisha.or.jp/ 定価 一年送料共 1000円

春季大祭斎行

桜花の下賑う参拝者



座に着座。宮司一様に始まり雅楽の調べが流れる中、献饌、幣帛進進の後、大田宮司が皇室・国民の平安を祈る祝詞を奏上し、続いて宗像郡市内の氏子代表として、玄海町の岩佐昭正氏

桜花爛漫の四月一日から二日間に亘り宗像大社本殿にて春季大祭が盛大に斎行された。大祭を間近に控えた三月二十九日には、地元総代並びに協力員が奉仕により、注連縄、紙垂の新調、幡立て、各所の装飾張り等の大祭準備が行われ、境内の装いもすっかり整った。

三月三十一日、午後五時、総社地主祭、同六時からは宵宮祭が夕暮れの中斎行され、大祭が無事斎行されるよう祈念された。

大祭当日の四月一日、正殿に威儀を正した大田宮司以下神職、氏子奉幣使、主基地方風俗、浦安舞奉仕者を始め、地元各界並びに多数の氏子参拝者が齋館前に列立、一鼓と共に同参進、殿舎にて修祓を受け本殿へと進み、拝殿所定の



天候に恵まれ春季大祭一日が斎行され、

に、御点前を披露し、香ばしい濃祭が神前に捧げられた。かくして春季大祭は、好

平成十四年献上若布採取表彰者は次の通り (順不同・敬称略)

天に恵まれ、神人和楽のもと厳肅に暮らした。なお、三月三十一日午前九時より奉納剣道大会が行われ、大祭に一層の花を添えた。

湿度八〇・九〇以上の高温多湿、冬季は温度一五度以下、湿度七〇・八〇以上の低温多湿の状態であった。

今回の空調設備改修は、第一に、収蔵する十三萬点余の神宝を管理に年間を通じて適正な湿度を保持する。第二に、機器の保守管理並びに維持の軽減計る。第三に、拝観者に対する室内換気は、第一に防炎で仕切り、夜間には完全なる遮断となり、昼間は拝観者の為に防火扉は開放しているが、第一階正面玄関開放のみであり、密閉状態であった。

昭和十五年開館以来、館内の空調は「外気を導入して内気を排出」するダンパー型式の集中自動制御システム管理であった。当初徐々に増設、安楽雑まで直線三キロメートル、排気ガス(真横に東道)、湿気(真横に釣川)などの影響で、装置の腐敗、老朽化が進み、近年では作動不可能な状態となっていた。

神宝館空調工事了

神宝館は空調設備の改修工事(本紙一月号既報)を計画通り二ヶ月の工期に終了し、国庫の担当調査官の施工実況調査も問題なく承認された。

神宝館は鉄筋コンクリート造り三階建、延床面積二千四。出入口は正面入口と鉄製非常扉が各階二ヶ所、夜間は防火扉で仕切り、

第一に、収蔵する十三萬点余の神宝を管理に年間を通じて適正な湿度を保持する。第二に、機器の保守管理並びに維持の軽減計る。第三に、拝観者に対する室内換気は、第一に防炎で仕切り、夜間には完全なる遮断となり、

第一に、収蔵する十三萬点余の神宝を管理に年間を通じて適正な湿度を保持する。第二に、機器の保守管理並びに維持の軽減計る。第三に、拝観者に対する室内換気は、第一に防炎で仕切り、夜間には完全なる遮断となり、

第一に、収蔵する十三萬点余の神宝を管理に年間を通じて適正な湿度を保持する。第二に、機器の保守管理並びに維持の軽減計る。第三に、拝観者に対する室内換気は、第一に防炎で仕切り、夜間には完全なる遮断となり、

第一に、収蔵する十三萬点余の神宝を管理に年間を通じて適正な湿度を保持する。第二に、機器の保守管理並びに維持の軽減計る。第三に、拝観者に対する室内換気は、第一に防炎で仕切り、夜間には完全なる遮断となり、

人事異動(神職)

四月一日付で人事異動を左記の通り行いました。

- 宮司 太田 可愛
権宜 神島 定
権宜 石橋 清寿
堀 宏
高向 正秀
渡邊 秀丸
杉山 安彦
宇都宮 勤
伊藤 佳和
葦津 幹之
佐々木 大治
中原 裕生
御床 直之
大塚 宗延
飛来 孝佳
長友 貞治
藤田 俊介
実習生 高木 裕之

御礼

春季大祭斎行に際しましては、皆様方より心からなる御協賛を賜り厚く御礼申し上げます。お除をもちまして、祭典も無事厳肅に斎行することができました。

宗像大社 社務所

御礼

此度の神宝館の空調工事期間中は、工事関係者各位並びに参拝来館者の皆様の誠意とご理解をいただき、無事完了致しました。ここに紙面をかき、謹んで御礼の御挨拶を申し上げます。

宗像大社文化財管理事務局

御礼

超高温ビル、原子力発電所、空港、自動車工場などはいずれも現代日本の科学技術の粋を集めてつくられた最先端、最先端を行く施設である。

余滴

木組の家

総合建設業 株式会社 弘江組

事務所 81106 福岡県宗像市大字福元二〇二五 電話 (〇九四〇) 三二一五六七

神具・装束 株式会社 井筒

福岡店 福岡市博多区東公園二二二(〒812-0045) 電話 福岡(〇九四〇)六一九四五六番

本館 京都市下京区油小路六条入(〒600-8231) 電話 京都(〇七五)三三三三三三番

宗像大社歌会 俳句作品集 四六五

自由ヶ丘 細川 縋子
日当たりで
葉かげにのぞく
椿かな

東郷 田中 憲夫
春遊業
遊びつかれて
窪かな

日里 花田いつ秋
渡りきる
五橋や鳥の
萩椿

東郷 吉武 湧泉
夢に待つ娘の
ランドセル

山茶花
郵便受けに
便り来る

東郷 三浦美千代
カナリやは
歌ふよ春の
喜びを

東郷 田中 雨葉
消えのこる
沖に飛行雲
つくしんぼ

東郷 木原 厚子
枝垂れ梅
しだる先も
開きたり

光岡 井上 嘉治
踏むに惜し
桜吹雪の
夕暮れや

福岡 森 清
四月馬鹿
空暗くして
蚊食鳥



(続)

浜の寄物

165

いししいただし

南洋とか南海という言葉には戦前戦中の懐かしい響きがある。旅行が得意で有名人のブ鳥ツアを募集していたので行くことにした。十人ぐらい参加があるのではと、思っていたら、私と楠本正氏と、私の友人のM氏の三人だった。M氏は海外旅行を多く経験し、英語もペラペラということであった。私と楠本氏は、中学校時代の英語からほとんど進化していないので、すべてM氏まかせである。

ヤップ島は現在ミクロネシア連邦に属している。はじめスペイン領・ドイツ領とかわり、一九四四年から四五年までが日本領となり、戦後は国連統治を受け、その後は国連統治を受け、その後先述したようにミクロネシア連邦ヤップ州にある。ミクロネシアの範囲は東経130°180°、赤道付近から北緯20°の間、約五〇〇万平方キロメートルの海域に点在する島々のあつまりで、大小三〇〇の島からなる。島々の全部を合わせると、陸地の面積は鳥取県ほどで、住民は約三九万人という。

ミクロネシアとはギリシア語で小さいを意味し、ミクロネシアとは島をあらわすネシア(ネソス)の合成で、小さな島々の意である。英語読みではマイクロネシアという。考古学で細石器をマイクロス、マイコロコアなどと使う。

現在のミクロネシアは北マリアナ諸島、コモロウエ



旧滑走路のゼロ戦

国、ミクロネシア連邦(ヤップ、チューク、ボンベイ、コスラエの各州、マーシヤル諸国共和国、キリバス共和国、ナウル共和国とからなる(ミクロネシア・大田区立郷土博物館)

福岡空港から三時間半で、グアム島へ、一泊して翌早朝三時半ホテルを出発。手続をへて、一時間半でヤップ港に着いた。ヤップ島旅行はグアムからの航空機の発着(週一便)も少なくあまり知られていないようで、日本人観光客も少ない。(グアムは日本人であふれている。南のパラオはダイバーが多いという。したがって旅行代金も、ヨーロッパあたりに行くのとかわらない。それに夕食はつかないから高いものについた。

迎えの車でまずホテルへ、海辺が望まれる木造の白亜館は、第一印象はよかった。通された部屋やホテル内には、ミクロネシアの民芸品などが飾られている。まず部屋に入って一息ついた。ホテルで休息して、午後からのスケジュール。一日目は島内の名所見学である。旧滑走路にあるゼロ戦の残骸があるというところに案内された。かつてこの島には日本兵(〇〇〇人)がいたという。滑走路ゆきの草ムラにその残骸があった。胴部と主翼、エンジンの部分ははずれて転がっている。プロペラはひん曲り、銃弾が貫通している。全体緑色に塗られていると想像していたが、残骸は赤っぽく、内側のジュラルミンは腐蝕して灰色となっていた。少し離れた草ムラに尾部に残骸が残っていたが、尾部とくっつくものが別のゼロ戦かはっきりしなかった。

脚部のところは、ステンレスのような特殊な金属が使われ、全滅錆びずにキラキラと輝いていたのが印象的だった。大事な部分は高度な最新の技術が使われていたのであろう。

近くには砲口を水平にした高射砲が二基、赤錆びて残っていた。しばらく三人は記念写真を撮ったりしながら半世紀前、ここが戦場であったことを感じていた。あたりはシーンと静まりかえり、カメラのシャッターの音しかしない。

話題の新車紹介

トヨタ「マークII・ブリット」



今回皆様に紹介する車は、今年三月に発表された新型ワゴン「マークII・ブリット」です。落ち着いた高級ステーションワゴンだった先代マークIIワゴンに続き、マークIIワゴンとして七代目となる今回の車は、高級ワゴンのテイストはそのままにプレミアムスポーツテイプ

ンとして生まれ変わりました。トヨタ車ではソアラに次ぐプロジェクト式ディスプレイヘッドランプを採用したフロントマスク。オリジナルティあふれる縦型独立四灯タイプのヘッドランプ。このスポーツテイプで個性的なプロジェクトランプの外周リフレクターにはメカニカルなリフレクターを施して精度感を演出しています。又、縦型のリヤマンビネーションランプと張りのある面構成で高級感を表現しています。

① スタイル
トヨタ車ではソアラに次ぐプロジェクト式ディスプレイヘッドランプを採用したフロントマスク。オリジナルティあふれる縦型独立四灯タイプのヘッドランプ。このスポーツテイプで個性的なプロジェクトランプの外周リフレクターにはメカニカルなリフレクターを施して精度感を演出しています。又、縦型のリヤマンビネーションランプと張りのある面構成で高級感を表現しています。

② 基本性能
マークIIセダンと共通のFRプラットフォームを使用。さらに、低燃費で静かさも大きな特徴の直列六気筒エンジンを全車に搭載しています。

エンジンラインナップとして、トッパグレードとして、二・五リッターボーン、低燃費と高出力を両立させた二・五リッターエンジンを用意しております。多人数乗車や荷物積載走行時に美しい車間姿勢を保つだけでなく、気持のいいハンドリングに優れた操縦安定性を表現する車高調整機能を持つセルフレベリングショックアソーパーを採用しています。

③ 安全性
「もしも」の時に備え、従来のGOAからより進化、緊急回避性能も大幅に向上し、FBD付ABSをも採用しています。さらに、歩行者への衝撃を軽減できるエンジンブレーキアシストも採用しています。

④ 環境対策
今回のマークIIブリットは、多くのリサイクル素材を使用しています。バンパーにはリサイクルに適合した素材を使用し、回収したバンパー材料をアンダートレーヤやサイドボックスなどに再利用しています。

もちろん、ターボ車を除く全車に「平成十二年基準排出ガス二五%低減レベル」を達成しています。

宗像店にて試乗車をご用意してお待ち致しております。ぜひ一度「ブリット」を体感してみてください。

お問い合わせ先
宗像郡福岡町中央 一丁目二一四
福岡トヨペット(宗像店) 四二〇九一六

今回の末社は、現在このように和歌神社の境内に合祀されている大井神社(糺神社)である。

御縁には、百八神の一つとして、高宮下符社のうち「大井明神社」とみえ、正平年中行事に、七十五社の一つとして、上高宮下符社のうち、「大井明神社」と、同高宮下符社事務の條に「大井明神社十一月十二日祭」とある。

延寶末社帳には、「大井明神山城國二百廿二座ノ内二建角身拾」とあり、筑前國統風土記拾遺二十八には、「大井村の和歌大明神社・國王大明神社を載せ、その末尾に「宗像末社記に大井大明神有。いつれの社を云るにや不詳」とされてお

り、大菅内誌にも「大井神社は宗像郡大井村に在しならむ其詳ならず、(節略)大井明神は宗像郡大井村ノ内糺社にあり社なるべきか」とあり、鎮座地とされている宗像市大字大井字前という場所は、地元氏子の方にもわからないというように定かではないが、大井の内にある社であったことには間違いないであろう。

宗像郡誌によると、御祭神は大名持命・少彦名命。由緒は不詳、例祭日は陰暦の九月十日とあり、境内神社は五社と記載されている。火之具止命を奉祀する秋葉神社、皇靈神を奉祀する氏森神社、秋葉神社の境内社で保食神を奉祀する福地神社、糺神社の境内社で菅原神を奉祀する天満神社、そして少童神を奉祀する糺神社とされている。何れも由緒は不詳、大正十三年に合祀されたとの記録が残っている。

新明細帳によると、例祭は十月十二日。氏は二十四日となっており、流造の本殿・幣殿・拜殿を有し、境内は、〇二坪余と記載されている。

境内からは、長閑な田園風景と大井川、緑豊かな田島の山々が視界に広がる。古の姿を想像する事ができるが、現況は本殿裏の鎮守の社も近くまで新興住宅地が迫っており、遠くからこの社を望むと、丘の上に立つ真新しい家々に違和感を覚える。しかし、御神域は氏子の方々により心落ちに清掃されており、きれに着く空間が保たれている。



神郡宗像 末社めぐり



にちなみがあることから、恐らくこの神社のことであろう。

宗像郡誌によると、御祭神は大名持命・少彦名命。由緒は不詳、例祭日は陰暦の九月十日とあり、境内神社は五社と記載されている。火之具止命を奉祀する秋葉神社、皇靈神を奉祀する氏森神社、秋葉神社の境内社で保食神を奉祀する福地神社、糺神社の境内社で菅原神を奉祀する天満神社、そして少童神を奉祀する糺神社とされている。何れも由緒は不詳、大正十三年に合祀されたとの記録が残っている。